

日本熱帯農業学会第 126 回講演会

期 日 2019 年 11 月 23 日（土）・24 日（日）

場 所 ホテルアトールエメラルド宮古島(講演会)・沖縄県宮古島市マティダ市民劇場(シンポジウム)

事務局 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学国際農業開発学科

運営委員長 入江憲治

運営委員 志和地弘信, 小塩海平, 菊野日出彦, 真田篤史, パチャキル・バビル,
寺田順紀

参加費および懇親会費（当日受付）

参加費 一般：6,000 円, 学生：4000 円（要旨集代含む）

懇親会費 一般：5,000 円, 学生：3000 円

発表者について

講演者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日まで(当日可)に入会の手続きをしてください。

講演会受付

ホテルアトールエメラルド宮古島 2階 渚の間前

11 月 23 日(土) 8:00～, 11 月 24 日(日) 8:00～

日程

11 月 22 日（金）

16:00～ 評議員会

場所：ホテルアトールエメラルド宮古島 2階 渚の間

〒 906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里 108-7

11 月 23 日（土）

9:00-11:30 口頭発表

11:45-12:30 ポスターセッション

13:30-17:30 公開シンポジウム

18:00-20:00 懇親会・学生優秀発表賞授賞式（ホテルアトールエメラルド宮古島）

11 月 24 日（日）

9:00-10:45 口頭発表

11:00-12:30 第 207 回研究集会

講演会 研究発表（発表 12 分、質問 3 分） ◎印は学生優秀発表賞審査対象

11 月 23 日（土）

開始時刻	第一会場 会場名：漲水 A（2 階）			第二会場 会場名：漲水 B（2 階）		
	座長	番号	講演題目	座長	番号	講演題目
9:00	香西直子・鹿大	1	◎ マンゴー品種間における花成反応の差異 巽賢太郎 ら 近畿大学 他	松田大志・国際農研	11	◎ Inoculation Effects of a Plant Growth Promoting <i>Agrobacterium</i> sp. S-343 on Water Yam (<i>Dioscorea alata</i> L.) Sumetee Liswadiratanakul et al. Tokyo University of Agriculture
9:15		2	◎ マンゴーのアントシアニン蓄積に關与する GST 様遺伝子の単離とその発現解析 田中祐太 ら 近畿大学		12	◎ メタ 16S 解析法によるダイジョ共生細菌叢の解明 朱家成 ら 東京農業大学
9:30		3	マンゴー品種‘リペンス’の果皮障害に対するギ酸カルシウム剤散布の影響 伊波聡 ら 沖縄県農業研究センター		13	◎ Nitrogen-Fixing Ability and Yield-Related Traits of a Supernodulating Groundnut (<i>Arachis Hypogaea</i> L.) Variety “Kyaung Kone” Teryima Teddy Hanmakyugh et al. Tokyo University of Agriculture
9:45		4	Biochemical Analysis on Cell Wall Pectin of Mangosteen Translucent Flesh Disorder Fruit Higuchi Hirokazu et al. Kyoto University et al.		14	◎ 液肥の N および NaCl 濃度がパッションフルーツの栄養生長、開花および果実特性におよぼす影響 佐藤大輝 ら 宮崎大学
10:00	立石亮・日大	5	硫化水素施与および遮光がパッションフルーツの低温下における栄養生長におよぼす影響 近藤友大 宮崎大学	山本宗立・鹿大	15	◎ Study of Using Rock Phosphate and Organic Residue as Alternative Fertilizers Mohamad Saoud Hassoun et al. Tokyo University of Agriculture
10:15		6	仕立て法の違いが施設栽培パッションフルーツの生育、収量、果実品質に及ぼす影響 木崎賢哉 ら 鹿児島県農業開発総合センター		16	Effects of water management on methane emission from paddy field and rice plants Kyu Kyu Hmwe et al. Chiba University et al.
10:30		7	ポット栽培におけるパッションフルーツの収量および果実品質 鈴木哲也 ら 岐阜県農業技術センター		17	◎ Evaluation of yield performance of Afghan and other rice (<i>Oryza sativa</i> L.) varieties under drought conditions Amin Mohammad Wasif et al. Tokyo University of Agriculture

10:45	樋口 浩和・ 京大	8	パッションフルーツにおける花粉発芽の耐暑性の品種間差 松田大志 ら 国際農研熱帯島嶼研究拠点	近藤 友大・ 宮崎 大	18	◎ Effects of relative humidity on freshness of tomato fruit stored under high-temperature conditions Gulbuddin Gulab et al. Tokyo University of Agriculture
11:00		9	鹿児島県におけるアーモンドの発芽および開花特性 香西直子 ら 鹿児島大学 他		19	◎ Effects of Low-Pressure Storage on Shelf Life and Quality of Tomato Mohammad Eshaq Rasekh et al. Tokyo University of Agriculture
11:15		10	受粉源となる花粉稔性がナツメヤシの着果、収量および品質に及ぼす影響 寺田順紀 ら 東京農業大学			
11:45 - 12:30			<p style="text-align: center;">ポスターセッション (艦の間 2階)</p> <ol style="list-style-type: none"> ◎ サブサハラ・アフリカ半乾燥地域における乾燥に対応した栽培技術—ケニア東部キツイ郡を事例に— 桐山大輝 ら 東京農業大学 ◎ Nutrition improvement through agrodiversity in rural areas of Kenya -Stimulating use of local food resources in Africa to improve nutrition and livelihoods- Madoka Kishino et al. Tokyo University of Agriculture et al. ピタヤ (<i>Hylocereus undatus</i>) 花粉の長期保存に関する研究～保存方法の検討と果実品質～ 東江真梨子 ら 玉川大学 パクロボトラゾール処理がパッションフルーツの開花、結実および果実形質に及ぼす影響 島田温史 ら 玉川大学 他 Depopulation and Abandoning Farming Problem as a Global Issue: Burmese and Bhutanese Scholars' Experience in Japan, July-August 2019 Akamatsu Y. et al. Kyoto Univeristy et al. 島ニンジンの最適栽植密度および根の無機成分における系統間差異 砂川春樹 ら 中城村役場 他 農業高校におけるESD実践—カカオを教材として— 安部由香子 ら 東京農業大学 			
12:30			昼休み			
13:30 - 17:30			<p style="text-align: center;">公開シンポジウム (沖縄県宮古島市マティダ市民劇場)</p> <p style="text-align: center;">「九州および南西諸島地域における気候変動に対応する熱帯農業研究」</p> <p style="text-align: right;">司会 菊野日出彦 (東京農業大学)</p> <p>学会長挨拶: 学会長 縄田栄治氏</p> <p>来賓挨拶 : 宮古島市 市長 下地敏彦氏</p> <p>・「近年の降雨パターンの変化が農地に及ぼす影響—速報—」 鈴木伸治氏 (東京農業大学)</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・「干ばつ耐性向上をめざした稲の根系改良の試みと今後の展望」 宇賀優作氏（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構） ・「近縁遺伝資源を利用したサトウキビ改良の取り組み」 寺島義文氏（国際農林水産業研究センター） ・「気候変動が九州および南西諸島地域における果樹生産に及ぼす影響」 山本雅史氏（鹿児島大学） <p>パネルディスカッション</p>
18:00 - 20:00	懇親会・学生優秀発表賞授賞式（ホテルアトールエメラルド宮古島 2階・櫓艦の間）

11月24日（日）

開始時刻	第一会場 漲水 A (2階)			第二会場 漲水 B (2階)		
	座長	番号	講演題目	座長	番号	講演題目
9:00	根本和洋・信州大	20	インドネシア・マルク州における檳榔利用 山本宗立 ら 鹿児島大学 他	大前英・国際農研	27	Waterlogging Induced Changes in Morpho-Physiology of Soybean Hossain Md. Saddam et al. Bangabandhu SMR Agricultural University et al.
9:15		21	ブルキナファソ中央台地に自生するアンドロポゴンの利用実態 團晴行 ら 国際農林水産業研究センター 他		28	Household Survey on Rice-Black Gram Cropping System in Maubin Township, Ayeyarwady Delta in Myanmar Kazuo Ando et al. Kyoto University et al.
9:30		22	ミャンマー・バゴー山地カレン焼畑システムでのムカゴコンニャク (<i>Amorphophallus bulbifer</i>) 採集の持続可能性 竹田晋也 ら 京都大学 他		29	タンザニアの灌漑水田における節水稲作技術の開発に向けた取り組み 森 恒樹 ら 東京農工大学 他
9:45	佐々木大・日大	23	沖縄県産ピタヤ品種の変遷に関する現地調査 柳澤俊介 ら 京都大学	加藤太・日大	30	ブルキナファソ農牧林における土壌保全効果の高い低灌木群落の被覆機能について 竹中浩一 ら 国際農林水産業研究センター 他
10:00		24	マラウイ高地におけるリンゴ栽培の導入と普及 -中部州デッサ県を事例に- 福田聖子 ら 日本大学 他		31	部分耕起と有機物マルチの組み合わせが土壌侵食及びサトイモの生育に及ぼす影響 大前英 ら 国際農林水産業研究センター 他

10:15	25	ベトナム、ハノイ市近郊における野菜栽培の開発課題 西村美彦 ら 名古屋大学 他	32	Study of locally adaptable sustainable taro production based on conservation agriculture in Palau Yin Yin Nwe et al. Palau Community College et al.
10:30	26	ネパール国バグルン郡における農家の種子調達システムー種子へのアクセスと品種の多様性ー 根本和洋 ら 信州大学 他		
11:00 - 12:30	第 207 回研究集会（会場：ホテルアトールエメラルド宮古島・2 階・漲水 B） 熱帯島嶼における生ごみ由来のメタン発酵肥料によるバイオマス循環の取り組み			

<会場案内>

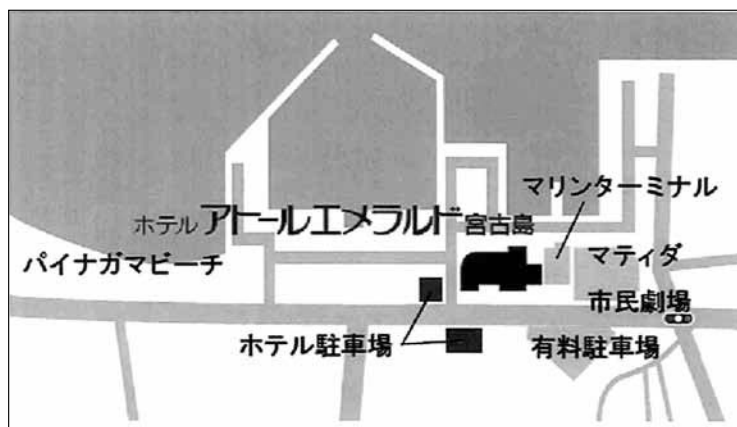
口頭発表、ポスターセッション及び研究集会会場

ホテルアトールエメラルド宮古島

〒906-0013 沖縄県宮古島市平良下里108-7

公開シンポジウム会場

沖縄県宮古島市マティダ市民劇場



ホテルアトールエメラルド宮古島とマティダ市民劇場とは隣接しています。

アクセス

宮古空港よりタクシーで15分，下地島空港より路線バスで30分（フライトに合わせて）